

解聽耗一升、五年以上二升者、熟案令意穀糶難損、尙聽其耗塩之、易消理須聽耗、三年以上、一解聽耗

寶龜四年正月廿三日

〔江家次第正四見〕定受領功課事

糶條糶條不動倉之糶也、交替式云、糶與延喜交替、式作支二十年云々、用殘有無者、見在之數也。

〔令義解五軍防〕凡兵士、人別備糶六斗、謂兵士私自備、即隊正以上亦自備之、若身死及得替者、還故納新其鹽亦准此也。

○按ズルニ、兵糧ノ事ハ、兵事部軍糧篇ニ詳ナリ、

〔續日本紀三十六光仁〕寶龜十一年五月丁丑、勅曰、機要之備不可闕乏、宜仰坂東諸國及能登越中、越後令

備糶三万斛、炊曝有數、勿致損失、

〔東大寺正倉院文書三十七〕紀伊國天平二年大稅帳

軍團糶

天平元年定稻壹伯玖拾壹斛捌斗貳升壹合

〔類聚符宣抄三〕太政官符東海東山北陸山陰山陽南海等道諸國司、令臥疫之日、治身及禁食物等事

漆條

一凡是疫病名、赤班瘡○中略

若成赤白痢者、○中略糶糶、粳糶、以湯醃、○中略食之、○中略其糶春碎、勿令全、○中略

天平九年六月廿六日

〔三河之物語〕うちがひに干飯よく候、木綿うちがひの中にあるをこしらへ置候て用候時入、腰に付候へば、さいく、嚙候によく候、又はうちがひながら水に入て少しおけば、程經て飯のやうになるものなりと、吉右語り被申候、

梅干の肉をさり、絹につゝみて、糸をつけて持べし、砂糖もよく候よし、同人語申候、